

健康診断オプション検査一覧表

※ () 内は、税込料金

2024.04.01 改定

検査項目	検査の目的	料金	
ペプシノゲン I、II	胃がんの前がん段階といわれている萎縮性胃炎をチェックします。	¥2,140 (¥2,354)	
ヘリコバクター ピロリ菌抗体	胃がんの原因とされているヘリコバクターピロリ菌の存在を調べます。	¥1,930 (¥2,123)	
胃がんリスク検診 (ABC検診)	胃がんの原因とされるヒト胃酸菌の感染とピロリ菌感染によっておこる萎縮性胃炎をペプシノゲンで調べることによって、胃がんリスクをA~D群に分類する検査です。胃がんそのものを見つける検査ではなく、胃がんリスク評価をする検査です。バリウムアレルギーがある方やバリウムが苦手な方にお勧めです。ピロリ菌除去を行った方等にはお勧めできません。	¥4,280 (¥4,708)	
尿酸代謝検査 (UA)	尿酸代謝機能が低下して、尿酸濃度が高まっていないかを調べます。	¥230 (¥253)	
腎機能検査 (クレアチン・eGFR)	腎臓の機能障害を調べます。	¥400 (¥440)	
心不全リスク検診 (NT-proBNP)	心臓から分泌されるホルモンで、心臓に負荷がかかると増加します。心電図と併用することで、軽症・無症候性の心不全や狭心症の検出に有用です。	¥2,140 (¥2,354)	
血液による腫瘍マーカー検査	注意	多くの腫瘍マーカーは、 早期がんで反応を示すことは少なく、またがん以外の良性の疾患でも反応を示すことがあります。 よって、 健康な方ががんの不安を抱えることもあり得ます。 さらには、PSA以外の腫瘍マーカーは、臓器特異性が低く、例えばCA125が陽性であっても、女性特有の臓器のがんとは限りません。病院等では、腫瘍マーカーをがんを診断する際の材料の一部として利用しますが、予防に重点をおく 健康診断での利用の際は、これらの腫瘍マーカーが持つ大きな問題点を理解したうえでご受検ください。	
	CEA	胃がん、大腸がん、肺がん等広範囲に反応を示す腫瘍マーカーですが、陽性を示すのは進行がんが多く、早期がん発見には適さないと言われております。	¥1,820 (¥2,002)
	CA125 (女性のみ)	主に卵巣がん、子宮がん反応を示しますが、妊娠初期や月経時・閉経時にも高値を示すことがあります。また他のがん(乳がん、肝臓がん等)や卵巣腫瘍、子宮筋腫でも高値を示す場合があります。	¥2,580 (¥2,838)
	PSA (男性のみ)	前立腺がんや前立腺肥大症などで高値を示します。	¥1,500 (¥1,650)
	AFP	主に肝臓がん高値を示しますが、肝臓がんであってもAFPが陽性にならないこともあります。慢性肝炎や妊娠時にも高値を示す場合があります。	¥2,140 (¥2,354)
	CA19-9	膵臓がん、胆道がん高値を示す他、胃がん、大腸がん、肝臓がん、肺がん、卵巣がんなどでも高値を示します。	¥2,140 (¥2,354)
	SCC	扁平上皮がんに対して陽性を示す率が高いです。子宮がん(頸部扁平上皮がん)、肺がん、食道がん、子宮筋腫などで高値を示します。	¥1,820 (¥2,002)
	CA15-3	乳がんのスクリーニング検査に用いられていますが、初期の乳がんではほとんど陽性を示しません。他に卵巣がん、肺がん、前立腺がん、がん以外の子宮内膜症、骨盤炎症性疾患、肝炎でも高値を示します。	¥2,780 (¥3,058)
肝 炎 検 査	HCV抗体	C型肝炎ウイルスに感染していないかを調べます。	¥2,140 (¥2,354)
	HBs抗原	B型肝炎ウイルスに感染していないかを調べます。	¥630 (¥693)
	HBs抗体	B型肝炎ウイルスに対する免疫力があるか否かを調べます。	¥720 (¥792)
	肝炎セット	HBs抗原、HCV抗体	¥3,400 (¥3,740)
便潜血検査 (2回法)	大腸がんのスクリーニング検査です。便に潜む血液の有無を調べます。 提出日を含めた4日前から採便可能です。生理中の採便は避けてください。	¥1,610 (¥1,771)	

※「便中ヘモグロビン」は、予め専用容器に採取していただいた便での検査となります。

それ以外の検査につきましては、健康診断当日に採血した血液(増量なし)にて検査いたします。